

第3学年 道徳学習指導案

日時：令和元年6月18日(火) 第5校時

場所：3年教室(2階)

授業者：

児童数：34名

1 主題名 親切とおせっかい

2 資料名 「わたしのしたこと」 <出典：光文書院 小学道徳>

3 主題構成表

<p>内容項目B- (6) 親切、思いやり</p> <p>相手のことを思いやり、進んで親切にすること。</p>	<p>■内容項目から見た児童の実態(姿)</p> <p>○仲間の係活動を積極的に手伝ったり、困っている仲間に優しく声をかけたりすることができる。</p> <p>△相手が望んでいるかどうかに関わらず、勝手に仕事を手伝ったり、仕事を奪い合ったりしてトラブルになることがある。</p> <p>△悲しい思いをしている仲間に声をかけるが、相手の気持ちに寄り添うことができず、興味本位で行動している場面がある。</p> <p>(要因)</p> <p>・親切は大切であり、困っている仲間を助けなければならないと分かっているが、相手の気持ちを考えずに行動してしまう。</p> <p>■レディネステストの結果から</p> <p>「親切、思いやり」については、道徳的価値の理解、道徳的行為の実践意欲ともに高いという結果が出ている。場合によって自分本位の押し付けになっていることには気付いていない。</p>	<p>■資料の分析</p> <p>本資料では、「わたし」のノンちゃんに対する思いやりが、親切ではなくおせっかいになってしまい、かえって二人の関係が気まづくなってしまう。互いの心の変化を追うことにより、「おせっかい」は互いの気持ちをよくするものではなく自己満足に終わってしまい、それでは意味がないと気づくことができる。「おせっかい」では、よりよい人間関係は築けないからである。相手の気持ちを考えることで、本当の「親切」につながるということを考えていくことのできる教材である。</p> <p>また、時、場、相手など具体的な条件を踏まえ、どうすることがよいことなのかを考えることの必要性も学ぶことができる。</p> <p>授業中にありがちな場面を切り取って考えさせることで、日常生活における自分自身の言動を振り返りやすい資料であるため、SSTの要素を取り入れた指導にもつなげたい。</p>
<p>■ねらい</p> <p>親切とおせっかいの違いに気づき、相手の立場や気持ちを考えて、進んで親切にしようとする心情を育てる。</p>		
<p>■展開の構想</p> <p>○主人公を通して、自分本位で行動してしまう気持ちを考える。</p> <p>◎自分本位の親切が、時と場合によって、おせっかいになることに気付く。</p> <p>○今までの経験から、自分自身をふり返る。</p>	<p>■基本発問 (◎中心発問)</p> <p>○ノンちゃんのお手伝いをしているときの私はどんな気持ちでしたか。</p> <p>◎なぜ私はノンちゃんの描いた絵を見ることができなかったのでしょうか。</p> <p>○ノンちゃんが困っているとき、私はどうすればよかったのでしょうか。</p>	

4 本時の展開

	主な学習活動	指導・援助
導入	<p>1. 価値の方向付けをする。</p> <p>○人に親切にしてあげた経験を出し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・係の仕事を手伝って一緒にやってあげた。 ・けがをした子を保健室に連れて行ってあげた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活（行動・行為）の振り返りをする。
展開前段	<p>2. 資料を範読する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・わたしの気持ちを考えながら聞く。 <p>3. 感想を発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・困っているノンちゃんを手伝ってあげてすごい。 ・わたしは手伝ってあげたけど、ノンちゃんは嫌がっていたのではないかな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主人公は「わたし」であることを確認する。 ・主人公の弱い気持ちに十分理解できるよう、日常生活の類似している部分と関わらせながら発問する。
展開後段	<p>4. 主人公の気持ちを考えることを通して自己を見つめる。</p> <p>○ノンちゃんのお手伝いをしているときの私はどんな気持ちでしたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ノンちゃんが困っているから助けてあげよう。 ・ノンちゃんも喜んでくれるだろう。 <p>◎なぜ私はノンちゃんの描いた絵を見ることができなかったのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分がしたことは親切ではなかったと気付いたから。 ・自分はよいと思ってやったけれど、うれしいことではなかったと気付いたから。 ・ノンちゃんが悲しそうな顔をしてきたから。 ・手伝った絵が入選してしまったから。 	<p>※役割演技を通して、私の気持ちを考えさせる。（役割演技1）</p> <p>ノンちゃんを助けてあげる場面で役割演技をする。</p> <p>・親切が時と場合によっておせっかいになることに気付くために、補助発問で手伝ってもらったノンちゃんの気持ちを考えるようにする。</p>
	<p>5. 日常の自分の姿や気持ちを見つめ、自分自身についての理解を深める。</p> <p>○ノンちゃんが困っているとき、私はどうすればよかったのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手伝うのではなく、教えてあげる。 ・どこが分からないのか聞いてみる。 ・助けてあげたつもりでも、相手が喜んでいなければおせっかいになる。 ・何かやってあげるときは、相手の気持ちを考えたい。 	<p>※役割演技を通して、親切とはどのような行動かを考える。（役割演技2）</p> <p>もう一度ノンちゃんを助けてあげる場面に戻り、演技をすることで、役割演技1との違いを考えるようにする。</p>
終末	<p>6. 教師の説話を聞く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・係活動の場面で、相手のことを考えて手伝っている子の思いを紹介し、仲間のすばらしい姿を価値付ける。